



岡山市区づくり推進事業助成申込書
(地域活動部門)

平成30年1月19日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナソウメイガックレンゴウジシュボウサイカイ
団体名 操明学区連合自主防災会
所在地 [REDACTED]
連絡先 [REDACTED]
フリガナ オダミツ
代表者職・氏名 会長・小田 光雄 [REDACTED]

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	操明学区防災フロント（最前線）事業
事業実施小学校区・地区	岡山市中区 操明小学校区
事業実施回数	新規 ・ 継続 4月 4回目 4/5 【 27年度から】
課題	1) 新役員の方と持続可能な協働組織作り。 2) 要配慮者避難訓練、見守り体制。 3) 町内会以外の受入体制と非常時連絡網の確立。 4) 2企業との提携・連絡網の作成・周知。 5) 単位自主防災会の新役員研修会開催。 6) 連合防災士3人の操明防災研修会の講師陣の充実。
事業の目的	1)小地域最前線の町内会の班単位から、防災協働員を発掘し育て、実働・実践組織に組み込み、地域防災の最前線活動者に仕上げる。 2)子・孫まで持続可能な14自主防災会の地域防災組織・枠組みを定着させる。 平常時各団体協働での、要配慮者の見守り活動を定着させる。

事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1) 協働団体＝持続可能な協働連帯組織のマニュアル作成へ。 2) 避難活動要配慮者＝避難を円滑に進めるための研修・訓練。 3) 避難場所＝円滑運営の見直し・町内会以外の受入体制。 4) 企業提携＝提携ルール・連絡網の作成・周知。 5) 人材育成＝各班委員研修会の為に講師陣の育成。
期待される成果・目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 住民の防災意識の醸成と活動参加意欲の向上。 2) 学区内での臨場的、具体的自主防災活動の充実と実践の定着 3) 防災協働員の充実と実践力の定着 4) 要配慮者の平常時見守り、非常時の救護活動の充実。 5) 地域の各種団体とのコミュニケーションの連携と行動力向上。 6) 単位防災会による独自の防災活動の定着。
企画などの工夫	<ol style="list-style-type: none"> 1) 全住民をいかに巻き込んでいくのか、(若い人達の意識調査) 新1年生、新幼稚園児保護者に防災アンケートお願いする 2) 学校・地域にある行政機関、企業等と連携。(避難場所の事を知る) 協働を円滑に進める努力を各協働団体長がトップリーダーをはたす。 3) 作りだした人材、組織、マニュアル類、施設物品資材等。(周知と実践能力) 総合的に運用して検証し、研修会・訓練を通して定着・習慣化としたい。
協働する団体等	<p>民児協＝避難所に於ける要配慮者受入・見守り体制 福祉協＝災害時に於ける避難所の受入・ボランティア受入体制・避難所運営 交通防犯協＝災害時における避難所・地域パトロール 環境衛生協＝災害時に於ける避難所衛生管理 親子クラブ＝災害時に於ける要配慮者(幼児)避難計画 他消防団OB・看護師経験者・中高生の避難所に於けるボランティア。</p>
事業の情報公開	<ol style="list-style-type: none"> 1) 連合町内会誌「操明ネットワーク」への掲載(年4回全戸配布) 2) 連合町内会役員総会への報告(年4回) 3) 連合町内会「操明ホームページ」へ掲載(活動記録) 4) その他照会に対応して情報公開をする。

学区地区への広がり	<p>1) 操南・旭操・富山・操明・平井 5 学区の緊急時連絡網の提携。 山陽学園大学と操山より南部の避難マップ 5 学区協力で作成</p> <p>2) 操南・操明合同防災講演会の開催。</p>
前年度からの見直し拡充点	<p>1) 協働団体との 避難所に於ける 2 回目の総合役割分担訓練。</p> <p>2) 研修会の充実 情報班・避難誘導班・救出救護・消火班四会場で新役員研修会を開催。</p> <p>3) 指定避難所（操明小学校）及び協定避難所 要配慮者と健常者の避難場所の設定避難行動訓練。</p> <p>4) 要配慮者避難 14 単位防災会での支援個別計画の充実</p>
次年度以降の予定	<p>① 年度以後の活動計画 四学区及び平井学区防災交流充実 学区内の新役員交代期の円滑運営</p> <p>② 資金の確保について ☑ 次年度も区づくり推進事業を申請する予定 2 年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 資金確保の具体的な方策： 連合町内会からの活動資金と単位自主防災会からの活動資金 協力企業からの協力金</p>
その他 PR したい点	<p>① 連合組織の情報班・避難誘導班・救出救護班・消火班・給水給食班、各班別研修会、各班研修マニュアルによる研修・訓練を開催しています。</p> <p>② わが地域で起こり得る最悪の状態を想定して、避難網(無線)と音(ハンドサイレン)で住民への 5 分以内連絡網の訓練をしている。</p> <p>② 要配慮者に対する個別避難支援計画を、14 防災ごとに作成し、避難訓練を始めている。</p>

事業スケジュール（企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。）

月日	活動内容
4月	2日 学区桜祭り。 連合自主防災会29年度役員総会(区づくり事業含む) 毎月第四日曜日、8時～防災倉庫草刈り、会議。 学区連合町内会役員総会
5月	区づくり事業企画会議。新一年生保護者に防災アンケート調査。 学区連合自主防災会、役員変更及び研修会議。新役員変更届作成提出。 小学校運動会。操明学区福祉活動計画推進委員会
6月	学区連合自主防災会会議。 旭川源流の碑、受入、送り。
7月	新役員研修会。 防災アンケート調査。無線機使用訓練。 企画会議。
8月	アンケート分析 研修会、反省会
9月	企画会議。 連合役員会議。 学区体育祭
10月	学区連合自主防災会会議。 学区敬老会。
11月	学区防災訓練。防災アンケート調査。反省会。 企画会議。 操明学区福祉活動計画推進委員会
12月	学区クリーン作戦。 29年度事業反省会。 新年度事業計画案会議
1月	防災倉庫備品棚卸。 区づくり事業申請書。
2月	要配慮者名簿の更新及び新規登録者個人避難計画作成。 学区連合自主防災会議、30年度事業計画。 連合町内会三役会議、各種行事との打合せ。 企画会議
3月	防災会総会資料の作成。 学区連合自主防災会、区づくり事業監査。 操明学区福祉活動計画推進委員会

収 支 予 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	前年度決算 (決算見込可)	予 算	備 考
岡山市補助金	122,000	120,000	(100円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	145,473	120,000	
参加者負担金			
協賛金			
寄付、他収入			
計	267,473	240,000	

◆ 支 出

単位円

費 目	前年度決算	予 算	備 考
会場費	10,500	10,000	会場使用料
印刷製本費	50,200	50,000	回覧・研修用資料等作成 アンケート、マニュアル作成
通信運搬費	7,650	8,000	電波使用料
手数料(リース料)	141,264	142,000	トランシーバー維持費
消耗品費	27,379	0	
食糧費	30,480	30,000	お茶代
計	267,473	240,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください)。(補助金額が20万円を超える場合のみ)

補助金の概算払いを	希望する	希望しない
-----------	------	-------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

活動費不足の為。

注①：前年度決算額が確定してない場合は、見込み額を記入してください。

注②：支出の費目は、消耗品費・食糧費・印刷製本費・旅費交通費・通信運搬費・謝礼金・会場使用料・保険料など適当な費目に分けて記入し、備考に積算内訳を記載してください。

※記入欄に書ききれないときは、別紙として添付してください。